

令和7年度 第3号

静岡市 環境保健研究所 だより

特集：
目に見えない空気を守る
－静岡市の有害大気汚染物質モニタリング－



発行者：静岡市環境保健研究所

編集：環境科学係

目に見えない空気を守る－静岡市の有害大気汚染物質モニタリング－

1. 私たちの活動について

静岡市環境保健研究所では、みなさんが毎日吸い込んでいる「空気」の安全を確認するため、市内の複数地点で一年を通じて大気の調査を行っています。

有害大気汚染物質とは、低濃度であっても長期間摂取し続けることで健康に影響を及ぼすおそれがある物質のことです。私たちは、最先端の分析機器を駆使して、これらの物質が環境基準を満たしているかを厳密に監視しています。



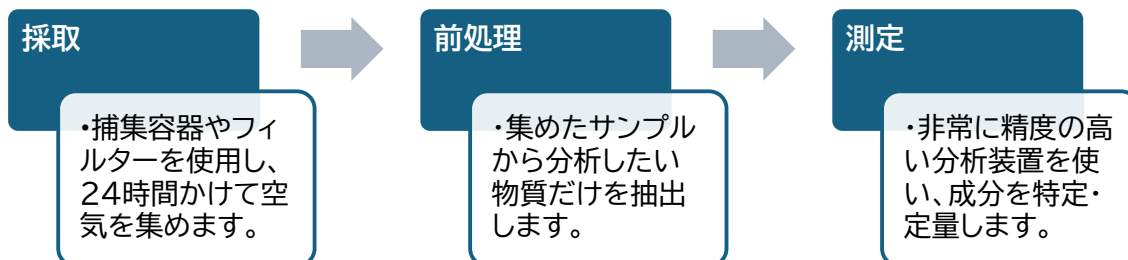
2. 何を調べているの？(主な分析項目)

現在、環境科学系では主に以下の5つのグループに分類される物質を測定しています。

分類	代表的な物質	特徴・発生源
揮発性有機化合物 (VOC)	ベンゼン トリクロロエチレンなど	溶剤やガソリンの蒸発、自動車の排ガスなどから発生します。
アルデヒド類	ホルムアルデヒドなど	接着剤や塗料、燃焼プロセスなどで発生します。
金属類	ニッケル、ヒ素など	工場などの産業活動から発生することがあります。
水銀	水銀及びその化合物	地球規模での循環が問題となる物質です。
多環芳香族炭化水素	ベンゾ[a]ピレンなど	物の燃焼(薪ストーブや排ガスなど)に伴い発生します。

3. どうやって分析しているの？

目に見えないほど微量な物質を検出するため、研究所では以下のようなプロセスで分析を行っています。



試料採取の様子(VOC)



測定の様子(VOC)

💡 豆知識 💡

私たちが測っている濃度は、例えるなら「東京ドーム2杯分(約 250 万立方メートル)の空気に、目薬をたった『1 滴(50 mg)』だけ霧吹きでシュッと混ぜた状態』のような、ごくわずかな量を見つけ出すレベルの精密さです。

4. 調査結果の活用

得られたデータは、「静岡市の環境」やホームページで公開しています。

これまでの調査では、静岡市の空気は多くの項目で環境基準をクリアしており、良好な状態が保たれています。もし、異常な数値が検出された場合には、速やかに関係部局と連携し、原因の特定や対策に役立てられます。

5. 研究所から市民の皆様へ

私たちは、科学の力で「静岡市の安全・安心な生活環境」を支えています。この調査は、将来にわたって健やかな空気を引き継いでいくための重要な健康診断のようなものです。これからも、透明性の高い正確なデータの発信に努めてまいります。